

1936



2007



明治神宮外苑・聖徳記念絵画館前
外苑
CRITERIUM
CYCLE ROAD RACE



28 2026

東日本大震災復興支援
第13回 寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド
2025年度 全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

第20回 明治神宮外苑大学クリテリウム

20th MEIJI-JINGU OUTER GARDEN UNIVERSITY CRITERIUM
明治神宮外苑 聖徳記念絵画館前 11:10開始 15:00表彰式

2026年3月8日(日)



PRINCE TOMOHITO MEMORIAL
WORLD GRAND PRIX

主催 日本学生自転車競技連盟
JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION



競技速報 instagram

https://www.instagram.com/gakuren_official/

ハイライト動画

<https://www.youtube.com/@jicf7330>

大会特設 <https://princetomohito-memorial-wgp.com/>
外苑クリテ過去大会アーカイブ <https://gaiencriterion.tokyo/>
日本学生自転車競技連盟:競技結果 <https://jicf.info/>



発泡素材で、
やさしい快適を。

セイノさん



イノアックくん

発泡素材。それは、泡の技術で生まれる素材。
イノアックは、発泡素材で人にもモノにも「やさしい快適」をつくる会社。
たとえばキッチンスポンジや車のシート、スマホの中の緩衝材など、
いろんなカタチであなたのそばにいます。

第20回明治神宮外苑大学クリテリウムに寄せて

Compliment to Meiji-Jingu Outer Garden University Criterium

大会会長・日本学生自転車競技連盟会長

村岡 功

President of the Japan Intercollegiate Cycling Federation
Isao MURAOKA

本日、ここに第20回 明治神宮外苑大学クリテリウムを開催できますことに感謝申し上げます。本連盟は1936年に創立され、2006年度に創立70周年を迎えることになりましたが、それに際して祝賀会開催だけでなく、当時の日本の自転車競技界に欠けている何かを補完する事業を実施しよう、という発案がなされました。そして、「首都圏における自転車競技大会の開催」が本連盟のみならず日本の自転車競技界にとっての重要案件である、との認識のもと、都内で幾つかの候補地において実現に向けた準備が行われました。結果として明治神宮外苑地域での企画が地元関係者の皆様のご理解をえることができ、1952年の皇居一周インカレロードレース以来の都内大会を開催することができました。準備段階の構想としては、1回限りの記念事業でしたが、幸いに関係者の継続を求める声を頂き、2回目以降も開催される運びとなって現在に至っています。以降、第8回大会ではコース上の大量の残雪を除去することができず、レースは中止されましたが、それ以外の年はコロナ禍の2020年以降も含めて継続的に開催することができております。これもこの大会の開催意義にご賛同頂いている関係者・協賛皆様のご厚意の賜物と感謝申し上げます。

会場地である明治神宮外苑では今まさしく、諸施設の更新・配置変更が進行中であり、大会のコースも今年から一部変更となります。新しい時代に向けての適応を続けながら、次の10年間、20年間をどう過ごしていくのか、が問われています。参加される選手の皆様においても、ここで走ることの貴重さと意義を噛みしめながら、各々の立場でその成果を将来に亘って発揮し続けて頂ければと願っています。

現在、社会の様々なシーンで人手不足・熟練者の高齢化や重労働環境での人材確保困難が指摘されていますが、自転車競技大会の開催現場も例外ではありません。創立90周年を迎える本年、本連盟創立当初の理念である「参加チームが支える競技大会の開催」という原点とどう向き合っていくのか、が試されています。今回、持続可能な開催形式を意識して、始発電車の運行前に集合していた準備態勢を一部改めて集合時刻を30分後ろ倒しし、全体として時程を短縮していますが、その結果としてグループ3の参加可能人数は減少しています。これにより参加できなくなる選手の皆様には申し訳ない一方で、大会そのものが生き残っていく方策を探っていかなければならないと思う次第です。

最後に、第20回大会の開催に際し、多大なるご尽力・ご助力を賜りました明治神宮外苑、新宿区、四谷警察署、四谷消防署、東京都自転車競技連盟、日本自転車競技連盟をはじめとする多くの諸団体、競技役員や警備・設営・運営関係者の皆様、また本大会にご賛同頂き多大なるご支援を賜りました協賛各社の皆様に対して、重ねて深甚なる感謝の意を表し、ご挨拶とさせていただきます。

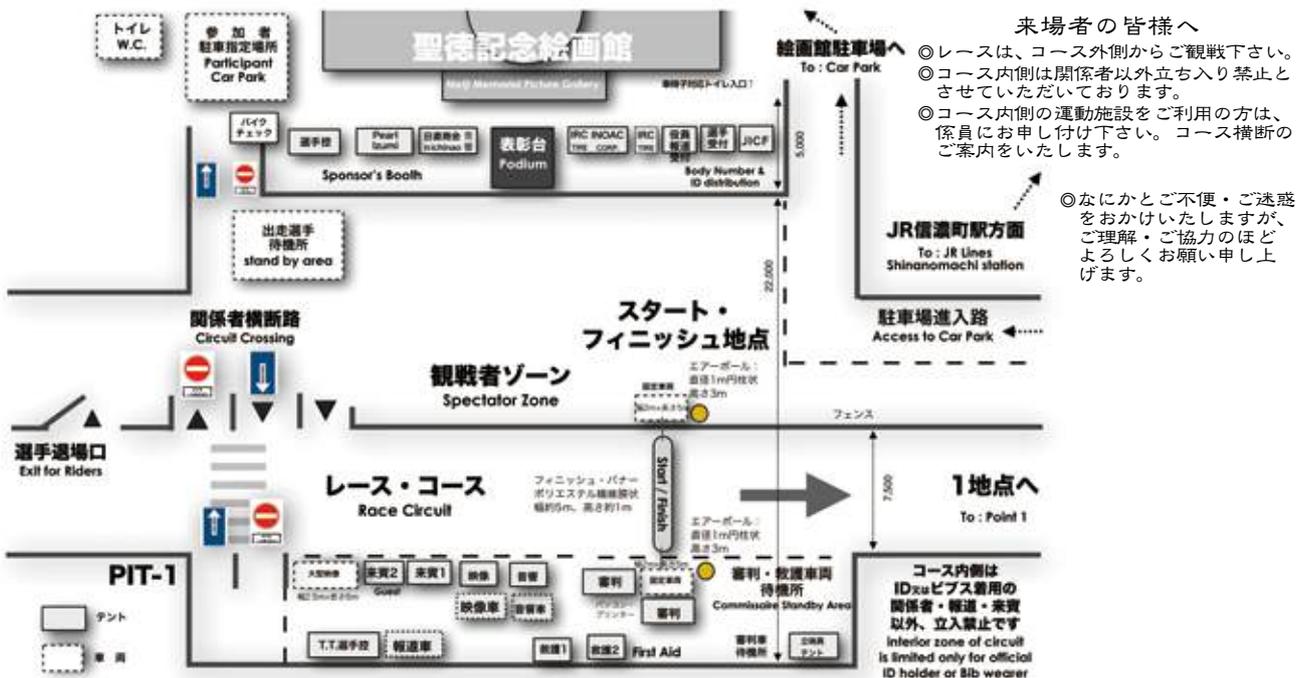
式 次 第 / CEREMONY PROTOCOL

開 会 式	12時20分より 絵画館前にて (一部の役員・選手のみ整列します。場内アナウンスをお聞きください)
開会宣言	江澤 翼 日本学生自転車競技連盟 学生委員長
主催者挨拶	村岡 功 日本学生自転車競技連盟 会長
RCS門田杯返還	神村 泰輝 前年度RCS総合リーダー / 早稲田大学
選手宣誓	阿 藤 来夢 前年度大学対抗最上位校 / 作新学大学代表
表 彰 式 (午前部)	開会式に引き続いて 絵画館前にて (表彰対象の選手のみお集まり下さい。場内アナウンスをお聞きください)
表 彰	男子大学生グループ3 タイムトライアル
表 彰 式 (午後部)・閉 会 式	15時00分より 絵画館前にて (表彰対象の選手のみお集まり下さい。場内アナウンスをお聞きください)
表 彰	男子大学生グループ2 女子クリテリウム 男子大学生グループ1 (大学対抗) 大学対抗チーム優勝杯贈呈 全日本学生ロードレースカップシリーズ総合表彰
歓送のことば	井 関 康 正 日本学生自転車競技連盟 副会長
閉会宣言	松 倉 信 裕 日本学生自転車競技連盟 理事長

時 程 表 / TIME TABLE

3月5日(木) 20:00 21:00	チーム代表者・供出立哨役員チーム責任者打合せ 設営・競技役員打合せ	5th Mar (Thu) Team manager & Marshalls meeting Commissaires meeting
3月7日(土) 14:30-17:00	第16回 大学自転車競技フォーラム東京 「都市型クリテリウムの行くえ」 於：新宿区霞ヶ丘町ジャパンスポーツオリンピックスクエア会議室	7th Mar (Sat) University Cycling Forum Tokyo #16
3月8日(日) 6:30 8:30 9:00 9:30-10:30 10:00 11:10 11:35 12:00 12:20 13:10 13:50 14:20 15:00 17:00	会場設営開始 競技役員・立哨役員集合打合わせ 交通規制開始 参加選手受付・ゼッケン配布 メディアミーティング オープン&ウォームアップ・ライド 1.4km × 5 laps = 7.0km 男子大学生 グループ3 1.4km × 5 laps = 7.0km タイムトライアル (小・中学生、パラ、アニバーサリー) 1.4km × 1 lap = 1.4km 開会式・表彰式(午前の部分) / 絵画館前 立哨役員昼食(コース閉鎖・試走不可) 男子大学生 グループ2 1.4km × 9 laps = 12.6km 女子(学連登録選手+JCF登録競技者) 1.4km × 9 laps = 12.6km 男子大学生 グループ1 (大学対抗) 1.4km × 23 laps = 32.2km 20回記念セレモニー 表彰式・閉会式(午後部分、大学対抗・シリーズ総合) 規制解除 (予定:早まる場合があります)	8th Mar (Sun) Course installation Commissaires & Marshalls meeting Public traffic control Start Body Number distribution Media meeting Open & Warm-up Ride Students Men Group-3 Time Trial (Kids, Paracycling, Anniversary) Opening & Awards Ceremony Lunch Break / circuit close Students Men Group-2 Women (JICF + JCF) Students Men Group-1 (University Team Match) Awards & Closing Ceremony End of Public traffic control

スタート・フィニッシュ地点周辺詳細図 / START & FINISH AREA MAP



大会本部：Race Office at S/F
 聖徳記念絵画館正面 開設時間 Hours 08:00-16:00
 スタート・フィニッシュ地点付近テント 電話 Tel. 090-2207-2369

最寄りの病院：Nearest Hospital
 慶應義塾大学病院 KEIO University Hospital
 〒160-8582 東京都新宿区信濃町35番地
 Tel. 03-3353-1211 (代表)



エアスピード シリーズ

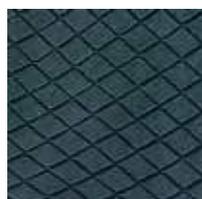
日本ナショナルチームや国内プロチームも採用しているトップモデル



エアスピード ジャージ



エアスピード ビブパンツ



SPEED SENSOR® II

ロードバイクの有効速度域に特化して開発した空気抵抗軽減素材「スピードセンサー® II」風洞実験を繰り返し、レースの速度域で最も空気抵抗の軽減効果が高まる素材を、最も効果的な位置に採用。



3D-X

着用感の少ないフィット感と柔らかなクッション性を両立させた「3D-X」パッド。衝撃のかかる坐骨部分にエラストマーを採用し坐骨の底付を軽減。擦れの原因となるパッド肌面の折れや角をつくらないフラット設計。

パールイズミのオーダーウェア

トップアスリートも着用する高機能素材、発色の良いプリントで、チームの個性を生かしたオリジナルウェアを、パールイズミの専門スタッフが一緒に作り上げます。学生向け特別価格もご用意し、学生サイクリストを応援します。

株式会社パールイズミ オーダーサービス課
〒130-0026 東京都墨田区両国 2-4-2
TEL 03-3633-5461

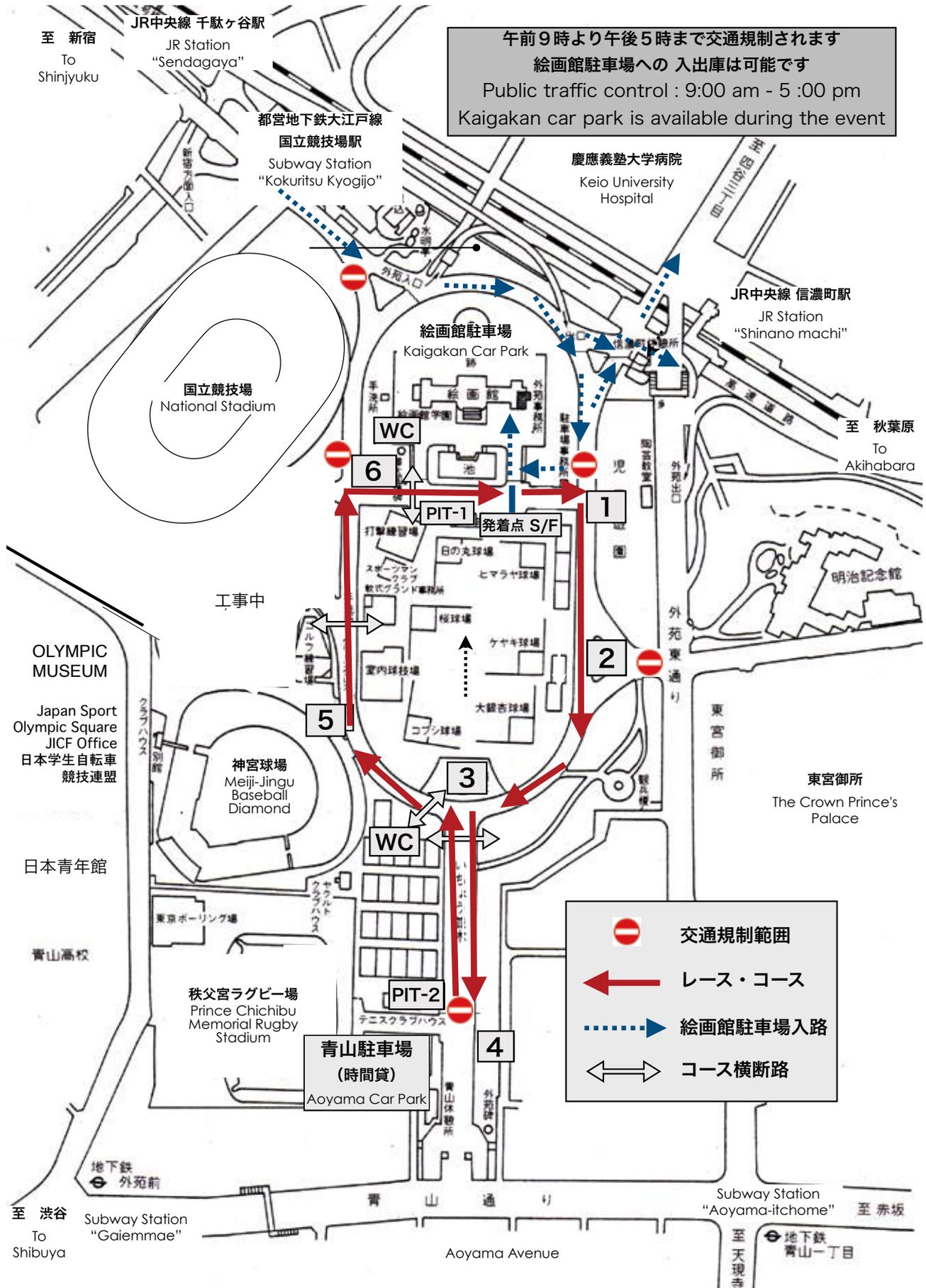


オーダーサービスの
ページはこちら

競技運営組織 / ORGANIZATION STRUCTURE & COMMISSAIRES

大会代表									
大会会長	村岡	功	日本学生自転車競技連盟会長						
大会副会長	井関	康正	日本学生自転車競技連盟副会長						
大会実行委員会									
競技運営委員長	松倉	信裕	日本学生自転車競技連盟理事長						
セーフティマネージャー	鈴木	俊保	日本学生自転車競技連盟理事						
総務委員長・総務統括	松倉	信裕 (兼務)							
総務副委員長	梶川	伸樹							
総務スタッフ	中田	真琴	大蔵	こころ					
受付・レセプション・進行管理統括	中川	敏彦							
受付・レセプション・進行管理副統括	鈴木	俊保 (兼務)							
設営全般統括	森川	純一	日本学生自転車競技連盟常務理事						
テント配置設営統括	荒井	和之							
コース設営・フェンスバナー・立哨統括	倉田	達樹	日本学生自転車競技連盟理事						
S/F地点設営全般担当	武田	彰	日本学生自転車競技連盟専務理事						
アドバイザー	大脇	恒夫							
広報担当	古田	立雅							
映像記録担当	花立	希優							
運営スタッフ (本部)	江澤	翼	小野木	さくら	小針	惟捺			
	中根	大宝	西野	菜々子	天野	颯太			
	石川	莉子	南	結月					
	日本学生自転車競技連盟学生委員会委員								
競技運営									
チーフ・コミッセール	森川	和之	日本学生自転車競技連盟常務理事						
フィニッシュ・ジャッジ	倉田	達樹	日本学生自転車競技連盟理事						
モト・コミッセール	大島	環弘	池内	直人	西川	一郎			
	大岩	全武	中村	妃智					
セクレタリー	井上	武夫	大脇	恒夫					
通告・音響・解説	芦田	千里 (MC)	高島	陽介 (PA)	寺部	和貴 (PA)			
アシスタント・コミッセール	栗村	修	日本学生自転車競技連盟審判部会						
			東京都自転車競技連盟	ほか					
			日本学生自転車競技連盟加盟校	OB・OG・供出学生					
古川	利勝	武田	彰	荒井	純一	古田	雅拓	深井	文浩
津石	康平	飯田	太文	早川	誠司	小島	裕樹	愛場	政広
高橋	直子	津島	智泰	井上	和一	上田	直範	影森	真由
川澄	玲子	倉橋	弥佳	富澤	一慶	中桐	直確	中村	真人
花田	恭子	原憲	雄也	本間	丈夫	守友	伸夫	山崎	英臣
河崎	直和	布目	一也	小川	加奈	西沢	潤太	林野	泰弘
澤口	和介	柴山	航一	木副	雷斗	小野	豪良	武川	明平
木村	洋介	間滋	文乃	藤田	千三	狩野	良太	小川	純裕
齋藤	理子	清水						田中	
救護									
大会公式ドクター	金子	稔	加藤	智信					
看護師	室岡	知世	橋口	優子					
コース・マーシャル (立哨役員)			日本学生自転車競技連盟審判部会						
			日本学生自転車競技連盟加盟校	OB・OG・供出学生					
榎山	結己	森	皇輝	鈴木	智也	塩出	優晋	新沼	菜
野崎	優空	西田	玲遠	乾	翔英	平井	健三	秋田	圭佑
阿部	浩大	高柳	李尚	吉引	智也	磯野	葵衣	阿部	伸二
塩野	信梨	熊谷	飛梨	岡場	智弥	播正	圭史	阿部	江寿
勝呂	恵美	下平	一貴	岡野	正陽	東海	深太	長尾	也
高濱	颯起	中川	由理	藤本	一怜	鳥屋	航平	山下	翔太郎
平寅	次郎	小林	岳央	小山	幹太	高木	春光	高橋	輪央
宮澤	陽大	住田	悠人	園田	伊吹	谷川	泰貴	小内	林護
鍋島	実助	新村	匠翔	石川	樹	成塚	章二	小田	田雅
木村	圭那	中島	涉成	矢野	行哉	永峯	桃椿	久次	真一
豊岡	優莉	藤澤	佑成	嶋山	大輝	小田	孔明	大野	健斗
小川	瑠偉	伊藤	未一	小嶋	海音	潮崎	孔明	青木	流
神山	瑠偉	榭原	健一	竹口	要	岡安	孔明	下	先
近藤	陽南	香川	陽佳	石黒	靖枝	石田	陽紀	岩谷	駿之介
後援		新宿区							
		公益財団法人日本自転車競技連盟					(順不同)		
会場設営・警備		株式会社シミズオクト							
協力		明治神宮外苑							
		東京都自転車競技連盟							
		一般財団法人日本自転車普及協会							
協賛		井上ゴム工業株式会社							
		株式会社イノアックコーポレーション							
		株式会社日直商会							
		株式会社パールイズミ							
		株式会社オージーケーカブト							
		株式会社ユニバーサル・フィナンシャル					(順不同)		

コース・規制範囲図 / CIRCUIT PLAN



東日本大震災復興支援

寛仁親王記念ワールドグランプリ国際自転車競技大会ロードレースラウンド

全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ最終戦

明治神宮外苑大学クリテリウム を応援しています

株式会社 **ユニバーサル・フィナンシャル**
UNIVERSAL・FINANCIAL

各種保険のご用命は当社まで

相続・事業承継・TAXプランニング

資産形成・生命保険・ライフプランニング

取扱保険会社

(生命保険)

オリックス生命 朝日生命 ソニー生命 日本生命 はなさく生命 アクサ生命

メットライフ生命 SOMPO ひまわり生命 エヌエヌ生命 FWD生命保険

マニウライフ生命 三井住友海上あいおい生命 明治安田生命 ネオファースト生命

(損害保険)

東京海上日動火災保険 楽天損害保険

☎101-0044 東京都千代田区鍛冶町1-7-1 椿ビル5F

☎:03-6206-9328 FAX:03-6206-9329

(担当 : 高田信彦 090-1790-9343 E-mail : takada@univ-f.co.jp)

テクニカル・ガイド

v20260215

大会日程 2026年3月8日(日) (雨天決行、積雪・路面凍結・荒天の場合中止)
 会場 明治神宮外苑周回コース 1周1.4km (東京都新宿区・港区)
 大会主旨 本大会は、本年度全日本学生ロードレースカップ最終戦としてその総合優勝者を決定し、またクリテリウムにおける大学対抗優勝校を決定する大会である。本大会は2007年2月に首都東京での初めてのクリテリウム大会として開催された「日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会」を発展的に継承し、学生スポーツのメッカである神宮外苑での学生自転車スポーツの振興普及を図るとともに、日本のサイクル・スポーツ全般の振興と東京の都市文化醸成に寄与することを目的としつつ、更に将来学生自転車競技者となる若年層の拡大に向けて、小・中学生の年齢層にサイクル・ロードレースの楽しみを体験する機会を提供することをモロ目指す。

主催・主管 日本学生自転車競技連盟
 後援 新宿区 公益財団法人日本自転車競技連盟 (順不同)
 会場警備 株式会社シミズオクト
 協力 明治神宮外苑 東京都自転車競技連盟 一般財団法人日本自転車普及協会
 協賛 井上ゴム工業株式会社 株式会社イノアックコーポレーション 株式会社日直商會 株式会社パールイズミ 株式会社オージーケーカブト 株式会社ユニバーサル・フィナンシャル (順不同)

競技規則 国際自転車競技連合(UCI)規則、(公財)日本自転車競技連盟競技規則、本大会特別規則による。

競技種目および参加資格

(I) 会場入場者全員共通事項

1-1 本連盟各種ガイドラインを順守し、その遂行に協力し委員・役員への指示に従うことを参加条件とする。ガイドラインを順守せず、その遂行に協力を拒む場合、それが故意であるかないかに関わらず、大会参加・会場への入場を認めない。尚、参加申込にあたっては、本大会参加に伴って万が一発生した如何なる不利益・損害も参加者本人の責任に帰する事を承諾し、熟慮のうえ参加可否を判断すること。

(II) 小中学生、オープンライド以外の種目の参加資格共通事項

2-1 当該年に有効な JCF (公益財団法人日本自転車競技連盟) 又は UCI 加盟国連盟の登録競技者である事

2-2 (4-1. ~ 4-4. 参加資格共通事項)

- 本連盟加盟校の登録選手で、エントリー時点において、大会当日を含む年度およびその前年度中に下記の研修を受講済みの者
 - 本連盟主催もしくは認定の座学系研修会(リモート講習含む)を少なくとも2回
うち1回以上がアンチドーピング講習であること
 - 本連盟主催もしくは認定の実地系研修会(リアル参加実技)を少なくとも1回
両方とも受講していることを参加の必須条件とする。本大会では、大会当日にセーフティライド実地系研修会を実施しない。スタート後に未受講が明らかになった場合には失格とし、そのレースの順位を与えない。
参加資格は参加申込時点のクラス区分による。但し参加申込締切後、本大会迄の大会においてクラス3からクラス2に昇格したものは、グループ3で出走することができない。
- なお、女子クリテリウムについては本連盟加盟校の登録選手以外の参加も認めるが、研修会・講習会についての要件をみたくすこと。本連盟招聘・招待選手については講習会受講要件について別途定める場合がある。

(III) 定員を上回った場合の措置

各カテゴリの人数上限を上回る申込みがあった場合、上記研修会参加状況を勘案して参加者を決定する。実地系研修会を1回2点、座学系講習会を1回1点として、直近2年度内ポイント合計による。
上記ポイントは、エントリー提出時点で獲得済のもののみがカウントされる。

(IV) 各カテゴリ毎の参加資格要件

- 4-1 大学生男子大学対抗 (グループ¹) 23周32.2km 概ね70名以内
 ・本年度日本学生自転車競技連盟加盟各校を代表する1校あたり2名から3名までの選手。
 ・日本学生自転車競技連盟ロードカテゴリ1または2の選手に限る。
 ・本連盟が招聘したチーム(海外チーム等)、1チームあたり2名から3名までの選手。
 ・グループ1の申込者に正当な理由による欠場者がある場合、当日ゼッケン配布時に、グループ2参加申込者より2名迄の補欠を起用する事ができる。
 ・グループ1の参加者は1名のみ、グループ2の参加申込者と交代することができる。その場合、当日のゼッケン配布時に選手交代届を選手受付に提出すること。
 ・選手個人のゼッケン番号は、グループが入れ替わっても、変更しないので注意すること。
 ・選手交代届は、あらかじめ学連HP上に用紙をアップするので、プリントして当日に持参すること。
 ・2名未満のチームは参加するとはできない。当日欠場により2名未満となったチームはグループ2での出走を認めることがある。
- 4-2 大学生男子グループ2 9周12.6km 概ね60名以内 (60名×1組)
 本連盟ロードカテゴリ・クラス1または2の選手。主催者招待によりオープン参加を認める。
- 4-3 大学生男子グループ3 5周7km 概ね60名以内 (60名×1組)
 本連盟ロードカテゴリ・クラス3の選手。
- 4-4 女子クリテリウム 9周12.6km
 (公財)日本自転車競技連盟登録女子競技者で本連盟が参加を認めた者。
- 4-5 小・中学生タイムトライアル 1周1.4km
 小・中学校年齢の児童・生徒で、ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車に参加できる者。
- 4-6 パラサイクリング・タイムトライアル 1周1.4km
 本年度(公財)日本自転車競技連盟通年もしくは臨時登録競技者(男女)
- 4-7 オープン&ウォームアップ・ライド(レースではありません) 5周7km
 ヘルメット&グローブ着用・自分の自転車に参加できる者。および上記各カテゴリに参加するすべての者。

(V) 立哨役員・競技役員、テントの供出

日本学生自転車競技連盟加盟各校については選手数に応じた立哨役員・競技役員と、大会本部用テントの供出を参加のための必要条件とする。

選手数	供出立哨役員数 東京および隣接県の学校	供出立哨役員数 本州以外の学校	供出立哨役員数 左記以外の学校
1	0	0	0
2	1	0	0
3	2	0	1
4	2	0	1
5	3	0	2
6	4	1	2
7以上	選手数の2/3	選手数の1/5	選手数の1/3

いずれの場合も小数点以下は切り上げ

立哨役員は、コース上の指定された箇所(合計約100カ所)に立ち、選手と一般客・歩行者との事故防止その他の安全管理にあたる。立哨役員は審判資格を必ずしも必要としないが、自転車競技に関する経験もしくは理解があり、自転車競技のスピード感や走行特性について体得している当年3月31日時点で満18歳以上の者とする。立哨役員・競技役員には、交通費等は支給されない。供出役員数が2名以上のチームにおいては、そのうち少なくとも1名は公認審判員資格保持者である事。供出役員数が3名以上のチームにおいては、そのうち少なくとも1名は第2級公認審判員資格保持者である事。

大会本部用テントの供出

大学対抗に出場する東京・埼玉・千葉・神奈川の学校から各1張。テントの大きさは特に制限しないが、大きめのものを歓迎。供出するテントの大きさ・数を電子メールで事務局に連絡のこと。持参しない場合は1万円のペナルティーを課す。

(VI) 使用できる自転車器材

小・中学生は特に制限しない。他のカテゴリはUCI規則および日本学生自転車競技連盟の規定を順守すること。(特別規則参照のこと)

参加申込

申込期限 1月27日(火) 13:00迄

・2023jicf.rcs.entry@gmail.com宛に所定様式のEXCELシート提出、ライセンスデータ添付

・かつ、別途GOOGLE FORMに記入返信すること。：後日発表

・グループ1は同一期限内にユニフォーム・データ(半袖上半身)も送付すること。

同データは本連盟のユニフォーム登録にあたって提出するユニフォームデータと同じもので、ロード用半袖上半身、なるべくジャージ・メーカー作成のデータを使用のこと

支払期限 2月3日(火) 13:00迄 参加可否を確認後に下記宛振込

振り込み先:長野県労働金庫 諏訪湖支店 普通 9687405 日本学生自転車競技連盟

支払が完了することで参加申込受付完了となる。納入した参加料は理由のいかんに関わらず返却しない。申込後の欠場については、感染対策に鑑みペナルティは課さないが、事前に連絡すること。

参加料 男子大学対抗グループ1

1チーム7万円

その他のカテゴリは本連盟登記大学生 10,000円

小・中学生

1,000円 (新宿区・港区在住もしくは在学の小中学生は500円)

女子オープン

15,000円

パラ・タイムトライアル

15,000円

オープン&ウォームアップ・ライドのみの参加者は 3,000円とする。

参加料には、駐車料金は含まない。

プログラム広告掲載

グループ1参加チームは、プログラム広告(A4版の1/3)を出す事ができる。

・広告原稿締め切り日は1月27日、締切に間に合わない原稿は掲載されない。広告データの作成の注意点:データの仕上がり寸法:仕上がり(高さ80mm×左右170mm)、データの作成アプリケーションと保存方法についてPDF/X-1a:2001形式(Acrobat 4:PDF 1.3)で保存したPDFデータをお願いします。X-1a形式であるかどうかの確認方法は、PDFを開いてファイルからプロパティを選び、カスタムのタブを選ぶと、値のところにPDF/X-1a2001と記載されています。X-1a形式であれば印刷用のデータとなります。もしくはJEPG形式で保存、またはイラストレータのデータで文字アウトラインをかけて、写真やリンクデータは埋め込み、CS6以前のデータで保存してください。イラストレータのデータの場合、バージョンによる不具合の可能性があるため、なるべくX-1aの形式で保存したPDFでご入稿いただくようよろしくお願い申し上げます。

チーム責任者の届出

男子・女子クリテリウムに選手が参加するチームは、事前に、チーム毎の責任者を選任して届出なければならない。この責任者は、チーム選手・スタッフ全員が諸規則・ガイドラインを順守し、指示・連絡事項の伝達を徹底しなければならない。

また、怪我人が出た場合の自チームによる病院への搬送や救急車への同乗に備えた要員を確保しなければならない。

事前チーム代表者会議

2026年3月5日(木)20時より、リモート事前チーム代表者会議を行う。チーム責任者は出席のこと。会議アドレスはエントリーシート記載連絡先に後日連絡する。

大会本部 聖徳記念絵画館正面スタート・フィニッシュ地点付近テント

開設時間 08:00-17:00 電話 090-2207-2369

ライセンス確認および出走者確定・選手受付

大会当日受付でのライセンスチェックを行わないので、選手全員の一名分ずつのライセンスの写真画像データまたはスキャン画像データをエントリー用紙提出時に添付すること。ライセンスが申請中の場合は、申請中であることを証明する書類のデータを添付すること。

(小・中学生、オープン&ウォームアップ・ライドは大会申込を以て臨時登録者として扱う)

本部にて、9:30-10:30の間にゼッケンを受取ること。

事故措置

1. 競技中発生した事故について参加者は自ら責任を負う。主催者にて応急処置の体制は準備するが、以降は参加者の責任と費用負担にて対応の事。

2. 各自の責任において参加者自身の傷害保険に加入の事。

3. 各選手は、健康保険証を必ず持参すること。

4. 本大会において主催者の加入する傷害保険は死亡時1,000万円、入院・通院の保障は無い。

肖像権

本大会の大会期間中の肖像権は主催者に帰属するものとする。主催者からオンボードカメラ映像のデータ提供要請があった場合、応じること。

取材申請

メディア関係者が来場される場合、当連盟HPより取材申請書を入手し、大会開催7日前の20時までには取材申請書をメールで事務局宛へ提出ください。また当連盟の「大会開催時ウイルス感染防止対策ガイドライン」に沿って、ご協力いただくことを原則とします。状況により来場をお断りする場合がありますのでご理解ください。

司法管轄

本大会への申込みを以て、本大会に関する一切の紛争(裁判所の調停手続を含む)は、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とすることに合意したとみなす。

特別規則

第1条 (安全配慮義務)

参加選手・チーム関係者は、競技規則・諸ガイドラインを順守し、よく整備された自転車に参加すること。

第2条 (チーム代表者会議)

参加チーム代表者は、大会日程・時程表に示された日時に会議(リモート形式)に参加すること。

第3条 (個人順位)

(クリテリウム 男子グループ1、グループ2、女子)

最終周回のフィニッシュラインへの到達順位により順位を決定する。

(クリテリウム 男子グループ3)

テンポレース方式で行う。毎周回にフィニッシュラインを先頭で通過した者に1点を与える。最終回も同様。得点の多いものを優位とし、同点の場合は最終周回着順による。周回獲得者には20点を与える。

(タイムトライアル)

完走タイムにより順位付けを行う。

第4条 (周回獲得、遅れ)

主集団の後尾に追いついた競技者は1周回先行したものとみなし、周回の優位性を認める。原則としてメイン集団より遅れた20名以下の集団の選手は直ちに失格とする。認められる事故による遅れの場合、遅れ集団が20名以上の場合はコミッセールの判断による。競技を中止した選手は、コースから出て、速やかにゼッケンを外すこと。

第5条 (ニュートラリゼーションおよび技術支援)

認められる事故の場合、グループ1は最後の10周、グループ2・女子は4周、グループ3は2周を除き、1周のニュートラリゼーションが認められる。器材修理は、指定されたピット(S/F地点および银杏通りUターン部)においてのみ認められる。

第6条 (中間スプリント賞)

男子大学生グループ1の5周回目、10周回目、15周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に中間スプリント賞として賞品を与える。また、女子については4周回目終了時にフィニッシュラインを1位で通過した者に同じく中間スプリント賞として賞品を与える。

第7条 (大学対校順位)

大学生男子グループ1に出場の各校における上位者2名の順位合計の少ない学校順。順位合計同等の場合はより上位者を有する学校。

第8条 (RCS ランキング)

本連盟「大会参加基準」に示された RCS ランキングポイント表注記に基づき他のラウンドの倍得点が付与される。グループ1出走者にはクラス1の、グループ2出走者にはクラス2の RCS ランキングポイントを付与する。

https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2023/04/2023_taikaisankakijun.pdf

第9条 (飲食物補給)

飲食物の補給は認めない。

第10条 (自転車およびギア比)

UCI 規則および明確化ガイドを順守のこと。ブレーキレバーの取付角度にも注意のこと。

<https://jicf.or.jp/download/rmcx> 競技のブレーキレバー取付け角度の制限/?wpdm=76190&refresh=65ddfea0c84f21709047456

日本学生自転車競技連盟の競技大会において使用する自転車に関する規程を順守のこと

https://jicf.info/hp/wp-content/uploads/2023/05/gakuren_annai20230405.pdf

公道を走行可能な装備を義務付ける。ベル、後方反射板もしくは反射テープも必須とする。

クリテリウムにおけるトップギア時のペダル1回転あたり前進距離を10.3m以内に制限する。(通常700cで53*11迄に相当)

タイムトライアルのユースのギア比はJCF規則による。

本条項は小中学生タイムトライアル・オープンライドには適用しない。

第11条 (無線装置)

競技者はレース中、無線装置の使用を認められない。

第12条 (賞典)

オープン&ウォームアップ・ライド

参加者全員に参加賞(表彰式はありません)

小中学生タイムトライアル

完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞(全員表彰台へ)

マスターズ、バラ・タイムトライアル

完走者全員にタイム証明書・参加者全員に参加賞(全員表彰台へ)

以下のカテゴリーは上位3位までを対象として準備が整い次第、表彰式を行う。

女子クリテリウム、男子グループ1, 2, 3

優勝者: 賞状・賞品、第2-8位: 賞状

大学対校順位

優勝者: 賞状・賞品、第2-8位: 賞状

全日本学生ロードレースカップシリーズ年度総合表彰

年間総合リーダー: リーダージャージ、優勝杯、賞品

大学生男子グループ3各組上位8%は、クラス2に昇格する。大学生男子グループ2各組ならびに大学生男子グループ1に出走したクラス2の選手の最上位者はクラス1に昇格する。

第13条 (環境保護)

ボトル、食料の残り・包装等、固形物は、フィニッシュ地点およびピットにてチーム同僚が回収する場合のみ静かに落とす事が認められる。それ以外の場所でのあらゆる固形物の投げ捨てはコース内・外、レース中・外を問わず、4000円のペナルティを科す。

第14条 (ドーピング・コントロール)

1. 全ての競技会は、ドーピング・コントロール対象大会となる可能性があります。

2. 本競技会参加者(18歳未満の競技者を含む。以下同じ)は、競技会にエントリーした時点で日本アンチ・ドーピング規程にしたがい、ドーピング・コントロール手続の対象となることに同意したものとみなします。18歳未満の競技者については、本競技会への参加により親権者の同意を得たものとみなします。

3. 本競技会に参加する18歳未満の競技者は、親権者の署名した同意書を大会に持参し携帯して下さい。親権者の同意書フォームは、日本アンチ・ドーピング機構(JADA)のウェブサイト<https://www.playtruejapan.org/jada/u18.html>からダウンロードできます。18歳未満の競技者はドーピング検査の対象となった際に、親権者の署名が記載された当該同意書を担当検査員に提出して下さい。なお、親権者の同意書の提出は18歳未満時に1回のみで、当該同意書の提出後に再びドーピング検査の対象となった場合は、すでに提出済みであることをドーピング検査時に申し出て下さい。ドーピング検査会場において親権者の同意書の提出ができない場合、検査後7日以内にJADA事務局へ郵送にて提出して下さい。親権者の同意書の提出がなかった場合でも、ドーピング・コントロール手続に一切影響がないものとします。

4. 本競技会参加者は、本競技会において行われるドーピング検査(尿・血液等検体の種類を問わず)を拒否又は回避した場合、検査員の指示に従わない場合、帰路の移動等個人的諸事情によりドーピング検査手続を完了することができなかった場合等は、アンチ・ドーピング規則違反となる可能性があります。アンチ・ドーピング規則違反と判断された場合には、日本アンチ・ドーピング規程に基づき制裁等を受けることになるので留意して下さい。

5. 競技会・競技会外検査問わず、血液検査の対象となった競技者は、採血のため、競技/運動終了後2時間の安静が必要となるので留意して下さい。

6. 日本アンチ・ドーピング規程の詳細内容およびドーピング検査については、公益財団法人日本アンチ・ドーピング機構のウェブサイト<http://www.playtruejapan.org>にて確認して下さい。

誓約書

大会主催者 殿

下記大会参加にあたり、当チームの選手・監督・コーチ・メカニック・その他すべての自チーム員が以下のことを確認し、順守すること誓います。

- 1 UCI (国際自転車競技連盟)・JCF (日本自転車競技連盟) 規則を順守し、誠実かつスポーツマン精神に則りフェアな態度で自転車競技に参加すること。(UCI規則1.1.004、JCF規則第5条2.(4))
- 2 大会(競技中のみならず式典・公式練習等の付帯行事を含む)における参加者の肖像権は本連盟に帰属すること。(JCF規則第5条2.(9) 準用)
- 3 規則に規定される仕事と責任に加えて、チーム監督は、スポーツ活動と競技者のチーム内の自転車スポーツ実践における社会的・人的条件の管理について責任がある。(UCI規則1.1.078)
- 4 チーム監督は絶えず組織的に、可能なときはいつでも、社会的・人的条件を改善する努力をしなければならない。そしてチームの競技者の健康と安全を守らなければならない。(UCI規則1.1.079)
- 5 チーム監督は、チームに所属する者あるいはいかなる役目であってもそのために働く者により規則が順守されることを保証しなければならない。彼は他の者の模範とならなければならない。(UCI規則1.1.080)
- 6 すべてのライセンス保持者はレースのない時でも常にきちんとした服装をし、あらゆる場合において礼儀正しいふるまいをしなければならない。すべてのライセンス保持者は、おどしや、侮辱や、下品なふるまいや、他の人を危険な状態におとしいれたりしてはならない。言葉、身振りや書いたものなどで他のライセンス保持者や役員やスポンサーや連盟、UCI および自転車競技全般の名誉や評判を傷つけてはならない。批評の権利は、穏健に、十分な動機があり筋の通った方法でのみ行使できる。(UCI規則1.2.079)
- 7 競技者はスポーツマンとしてあたえられた機会を守らなければならない。競技者間の利害に関し、いかなる共謀や偽りや誹謗は禁止する。(UCI規則1.2.081)
- 8 競技者は最大限の注意を払って行動しなければならない。競技者が原因で発生した事故に関しては自分で責任を負わなければならない。競技者は開催国における法律を順守しなければならない。(UCI規則1.2.082)
- 9 本大会への参加に関連して生じる競技結果・ペナルティなどに関し、本連盟ウェブサイト等において氏名・所属チーム等が公表されることを予め承諾する。

注意: 大会要項等は諸事情により変更される場合があるので、JICF ウェブサイトを随時チェックすること。

問い合わせ先: (問い合わせはチーム責任者からのみ受付です。選手個人からのお問合せはご遠慮ください)

日本学生自転車競技連盟

電子メール: jicf@remus.dti.ne.jp (エントリー提出は上述参照) ホームページ: <https://jicf.info/>

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号 ジャパンスポーツオリエンティックスクエア408

電話 & FAX 03-6804-2329

(電話は原則として毎週水曜19時~21時の間のみの対応となります。本連盟へのお問い合わせは電子メールにてお願いします。)

まもる笑顔は、未来のため。

“すべての人に安全と安心を提供するメーカー”

オージーケーカブトは、子どもから大人にいたるまで、
ずっとみなさまのパートナーとして親しんでいただける
生涯ブランドを目指し、「品質と心質」にこだわり続けます。
すべての笑顔を守るために。



自転車ヘルメット製品
ページトップ

出走者一覧 / START LIST

オープン&ウォームアップ・ライド (レースではありません)
OPEN & WARM UP RIDE11:10 スタート
1.4km×5周=7km

ゼッケン	氏名	ゼッケン	氏名	ゼッケン	氏名
501	十時正一郎	502	十時正夢	503	

男子大学生グループ3
GROUP-3 / UNIVERSITY STUDENT - MEN11:35 スタート
1.4km×5周=7km

ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年	ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年
201	中野太陽	筑波大学	2	231	大塚春人	日本大学	2
202	澤口龍馬	作新学院大学	1	232	亀田琉斗	日本大学	2
203	西村林太郎	作新学院大学	1	233	陶山陽也	日本大学	1
204	河野星成	作新学院大学	1	234	山田愛太	日本大学	1
205	小林陸	群馬大学	3	235	鈴木来音	法政大学	3
206	鈴木巧汰郎	順天堂大学	3	236	井上功志	法政大学	3
207	山本率輝	順天堂大学	1	237	遠山愛磨	法政大学	2
208	高橋陽輝	慶應義塾大学	3	238	小林優太	法政大学	1
209	吉川蒼大	慶應義塾大学	2	239	中村和樹	明治大学	1
210	赤羽慶亮	慶應義塾大学	1	240	西川優太	立教大学	2
211	岩月太郎	慶應義塾大学	1	241	大竹広高	立教大学	2
212	長谷川哲也	慶應義塾大学	1	242	貫井一磨	立教大学	1
213	渡邊瑛俊	慶應義塾大学	1	243	下瀬結仁	早稲田大学	2
214	鈴木龍悟	駒澤大学	2	244	安井健二郎	早稲田大学	2
215	佐藤直	駒澤大学	1	245	福島瑞希	早稲田大学	1
216	井出晃太郎	中央大学	4	246	江澤翼	東海大学	3
217	植松史弥	中央大学	4	247	船山雄登	東海大学	2
218	金子颯	中央大学	2	248	岩渕励	東海大学	1
219	昼田駿斗	中央大学	2	249	前原秀太	日本体育大学	1
220	高木そら	東京大学	2	250	関麟太郎	新潟大学	4
221	山川大輔	東京大学	1	251	丸川瑛士	新潟大学	1
222	徳永研人	東京科学大学	1	252	加藤光	三重大大学	3
223	森圭牙	東京科学大学	1	253	大城朝海	朝日大学	2
224	矢口友輝	東京都市大学	2	254	金崎大輝	朝日大学	1
225	稲田樹	東京都市大学	2	255	松原駿太	立命館大学	1
226	畔上陽平	東京都市大学	2	256	荒井柊吾	龍谷大学	3
227	土子夏輝	東洋大学	4	257	二宮苙太	関西大学	1
228	槇勇人	東洋大学	2	258	吉田旺正	久留米大学	1
229	柳達也	東洋大学	1	259	谷口慶志郎	鹿屋体育大学	3
230	栗原颯志	東洋大学	1	260	福永隼人	鹿屋体育大学	3

小中学生 & アニバーサリータイムトライアル
KIDS & ANNIVERSARY TIME TRIAL12:00 スタート
1.4km×1周=1.4km

出走順	ゼッケン	氏名	Name	学年	スタート時刻	フィニッシュ	記録(タイム)
1	401	小田島寛奈	ODAJIMA, Kanna	中3	12:00:00	: : "	分 秒
2	134	神村泰輝	KAMIMURA, Taiki	4	12:01:00	: : "	分 秒
3	101	及川弘恭	OIKAWA, Hiroyasu	3	12:02:00	: : "	分 秒

男子大学生 グループ2

GROUP-2 / UNIVERSITY STUDENT - MEN

13:10 スタート
1.4km×9周=12.6km

ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年
101	及川 弘 恭	作新学院大学	3
102	市村 颯 大	順天堂大学	2
103	竹内 蓮 翔	順天堂大学	2
104	大谷 立 樹	順天堂大学	1
105	堀本 素 良	順天堂大学	1
106	西 優 斗	学習院大学	4
107	長谷川 嘉 洋	慶應義塾大学	3
108	南山 航 介	慶應義塾大学	3
109	高島 和 真	慶應義塾大学	2
110	野中 康 平	慶應義塾大学	1
111	三宅 太 生	中央大学	3
112	岩月 諒太郎	中央大学	2
113	島崎 将 男	中央大学	2
114	高橋 駿 斗	中央大学	1
115	長尾 春 輝	東京大学	3
116	山本 航 輝	東京都市大学	3
117	鶴見 健 二	日本大学	3
118	伊 書 男	日本大学	2
119	石田 航 太	日本大学	2
120	片山 悠 明	日本大学	2
121	渡邊 琉 聖	日本大学	2
122	黒澤 響 冴	日本大学	2
123	松岡 勇 斗	日本大学	2
124	村山 健太郎	日本大学	1
125	筒井 和	日本大学	1
126	吉野 瑠 人	法政大学	3
127	植本 健 新	法政大学	2
128	吉田 朋 博	法政大学	1
129	本井 大 裕	法政大学	1
130	海老島 卓 弥	明治大学	3

ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年
131	辻 洗之介	明治大学	2
132	相場 俊 輔	立教大学	1
133	笠原 昇太郎	立教大学	1
134	神村 泰 輝	早稲田大学	4
135	鈴木 紳之助	早稲田大学	3
136	大野 宗 哲	早稲田大学	2
137	落合 康 生	日本体育大学	3
138	新垣 快 琉	日本体育大学	3
139	池田 翔 元	日本体育大学	2
140	鈴木 清之介	日本体育大学	2
141	宮崎 碧瑠斗	日本体育大学	1
142	梅津 飛 羽	新潟食料農業大学	3
143	高橋 壮	新潟食料農業大学	2
144	廣瀬 大地	新潟食料農業大学	1
145	住吉 晴 気	中京大学	3
146	久下 温 人	中京大学	2
147	鈴木 拓 夢	中京大学	2
148	佐々 鴻士朗	中京大学	2
149	渡邊 蓮	朝日大学	3
150	樋口 源	明治国際医療大学	3
151	辻 陸 翔	明治国際医療大学	2
152	西尾 啓 臣	明治国際医療大学	1
153	竹内 奨 吾	関西大学	3
154	上中 陽 生	関西大学	1
155	下川 一 翔	久留米大学	3
156	杉野 翔 一	鹿屋体育大学	3
157	廣田 汰 也	鹿屋体育大学	2
158	畑 祐 太郎	鹿屋体育大学	2
159	国吉 朔 望	鹿屋体育大学	1

女子クリテリウム

WOMEN'S CRITERIUM

13:50 スタート
1.4km×9周=12.6km

ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年
301	相見 涼 花	法政大学	2
302	針替 百 花	立教大学	2
303	岡本 彩 那	群馬大学	1
304	濱 彩 春	法政大学	3
305	北中 成 実	法政大学	1
306	水野 愛 果	立教大学	1
307	岡本 美 咲	早稲田大学	2
308	水谷 彩 奈	日本体育大学	2

ゼッケン	氏名	大学名 (Name of Team)	学年
309	伊藤 日 菜子	日本体育大学	1
310	小館 り え	日本体育大学	1
311	今西 紗 楽	鹿屋体育大学	1

中間スプリント賞 INTERMEDIATE SPRINT	ゼッケン	Name	Name of Team
4周回終了時			



一緒につくりあげた、技術力



二輪タイヤメーカー iRC TIREは、
安心と安全を使命にプロダクトを通じ「駆ける喜び」
「新しい価値」を提供してまいります。

irc-tire.com



アイ・アール・シー 井上ゴム工業株式会社

〈本社〉〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13-4
〈海外拠点〉北米・中国・東南アジア



マットレス・住宅用断熱材・自動車部品・保冷輸送機器
「見えないところから暮らしを快適に」
それがイノアックの使命です。

inoac.co.jp



株式会社 イノアックコーポレーション

〈本社〉〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2丁目13-4
〈支店〉東京・名古屋・大阪・九州 〈営業所〉札幌・東北・浜松・広島
〈海外拠点〉北米・中国・東南アジア 他



iRC TIREとイノアックはグループ企業です。

男子大学生グループ1 (大学対抗)
GROUP-1 / UNIVERSITY STUDENT-MEN14:20 スタート
1.4km×23周=32.2km

大学名 (Name of Team)

ゼッケン	氏名	Name	学年
作新学院大学			
1	左田 龍脩	SADA, Ryusuke	4
2	阿 藤 来 夢	ASO, Raimu	3
3	生田 楓唯	IKUTA, Fui	4

朝日大学

4	雪本 誠	YUKIMOTO, Riaru	2
5	鶴久 力	TSURUHISA, Chikara	3
6	アルナサリス 良利	ARUNASARIS, Rary	3

新潟食料農業大学

7	加藤 快介	KATO, Kaisuke	3
8	柳田 慶士	YANAGITA, Keishi	2
9	谷畑 希一	TANIHATA, Kiiichi	2

早稲田大学

10	山里 一心	YAMASATO, Isshin	3
11	児玉 誠虎	KODAMA, Masatora	2
12	小林 典宗	KOBAYASHI, Norimune	1

日本体育大学

13	小林 海斗	KOBAYASHI, Kaito	3
14	井上 幸洋	INOUE, Koyo	2
15	室伏 碧透	MUROFUSHI, Aoto	1

立教大学

16	町田 和稀	MACHIDA, Kazuki	3
17	菅野 佑介	KANNO, Yusuke	2
18	比留間 直人	HIRUMA, Naoto	1

順天堂大学

19	菅原 聡	SUGAWARA, Satoshi	4
20	大森 虹亮	OHMORI, Kousuke	3
21	鯉沼 晴稀	KOINUMA, Haruki	1

慶應義塾大学

22	中谷 研斗	NAKAYA, Kento	2
23	山崎 直人	YAMAZAKI, Naoto	1
24	吉村 紘太郎	YOSHIMURA, Koutaro	1

中央大学

25	大室 佑	OHMURO, Tasuku	2
26	佐藤 后嶺	SATO, Koryo	1
27	三浦 一真	MIURA, Kazuma	1

大学名 (Name of Team)

ゼッケン	氏名	Name	学年
日本大学			
28	秦 愛希翔	HATA, Akito	2
29	峠 龍之介	TAO, Ryunosuke	2
30	木綿 峻介	MOMEN, Ryosuke	1

法政大学

31	屋口 修治	YAGUCHI, Shuya	3
32	木下 寿杜頼	KINOSHITA, Suzunari	2
33	風間 大和	KAZAMA, Yamato	2

明治大学

34	鈴木 滯	SUZUKI, Rei	3
35	升谷 太一	MASUTANI, Taichi	1
36	秋元 碧	AKIMOTO, Ao	1

明治国際医療大学

37	彦坂 拓真	HIKOSAKA, Takuma	2
38	尾澤 瑤成	OZAWA, Yousei	1
39	鈴木 星風	SUZUKI, Seina	1

立命館大学

40	榊原 健太	SAKAKIBARA, Katsuta	3
41	中江 真也	NAKAE, Shinya	2
42	塚本 善広	TSUKAMOTO, Yoshihiro	2

関西大学

43	西村 聡太	NISHIMURA, Souta	3
44	西口 恵唯	NISHIGUCHI, Kei	2
45	小林 史弥	KOBAYASHI, Fumiya	1

鹿屋体育大学

46	並江 優作	NAMIE, Yusaku	3
47	河村 元	KAWAMURA, Hajime	2
48	金井 健翔	KANAI, Kensho	1

中間スプリント賞 INTERMEDIATE SPRINT	ゼッケン	Name	Name of Team
5周回終了時			
10周回終了時			
15周回終了時			

男子大学生グループ1 チームユニフォーム紹介

作新学院大学



2025年度 RCSランキング 1位 及川 弘恭選手所属校
 2025年度 RCSランキング 2位 左田 龍脩選手所属校
 2025年度 RCSランキング 6位 阿籾 来夢選手所属校
 昨年グループ1大学対抗順位 1位校

朝日大学



2025年度 RCSランキング 4位
 雪本 誠選手所属校

新潟食料農業大学



2025年度 RCSランキング 6位
 加藤 快介選手所属校

早稲田大学



2025年度 RCSランキング 9位
 山里 一心選手所属校

日本体育大学



2025年度 RCSランキング 11位
 落合 康生選手所属校

立教大学



2025年度 RCSランキング 13位
 町田 和稀選手所属校

順天堂大学



慶應義塾大学



中央大学



日本大学



法政大学



明治大学



明治国際医療大学



立命館大学



関西大学



鹿屋体育大学



各大会成績のグループ2、グループ3、小中学生タイムトライアル、マスターズ・クリテリウム他
の結果については、外苑クリテ過去大会アーカイブでご確認ください。

<https://gaiencriterion.tokyo/>



第一回大会成績 / RESULTS OF THE 1st EVENT 2007年2月4日(日)

日本学生自転車競技連盟創立70周年記念行事 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	グループA	グループC	女子
1位 明治大学	1位 湯浅 徹 明治大学	1位 遠藤 邦明 法政大学	1位 和田見里美 中京大学
2位 鹿屋体育大学	2位 角 令央奈 鹿屋体育大学	2位 下沖 功児 慶應義塾大学	2位 石井 寛子 明治大学
3位 法政大学	3位 島田 真琴 法政大学	3位 阿部 力也 日本大学	3位 小淵 千恵 順天堂大学
4位 早稲田大学			
5位 日本大学	グループB	グループD	
6位 中央大学	1位 湯浅 大輔 法政大学	1位 工藤 薫 早稲田大学	
7位 中京大学	2位 我妻 敏 日本大学	2位 大谷 雄貴 東海大学	
	3位 兼平 純 日本大学	3位 岡林 秀樹 信州大学	

第二回大会成績 / RESULTS OF THE 2nd EVENT 2008年2月11日(祝)

2008年世界大学選手権自転車競技大会代表選手選考大会・日仏交流150周年記念
2007年度全日本学生ロードレースシリーズ最終戦 第二回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 法政大学	1位 辻本 翔太 順天堂大学	1位 湯浅 徹 明治大学	1位 川又 千裕 鹿屋体育大学
2位 鹿屋体育大学	2位 渡辺 将大 中央大学	2位 内間 康平 鹿屋体育大学	2位 戸井 麻里子
3位 早稲田大学	3位 笠原 慶輔 明治大学	3位 青柳 豊輝 法政大学	3位 智野 真央

第三回大会成績 / RESULTS OF THE 3rd EVENT 2009年2月22日(日)

2008年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第三回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 鹿屋体育大学	1位 辻本 翔太 順天堂大学	1位 内間 康平 鹿屋体育大学	1位 荻島 美香 アライレーシング
2位 中央大学	2位 西園 良太 東京大学	2位 吉田 隼人 鹿屋体育大学	2位 近藤 美子 鹿屋体育大学
3位 日本大学	3位 福田 高志 大阪経済大学	3位 窪木 一茂 日本大学	3位 堀 友紀代 Ready Go JAPAN

第四回大会成績 / RESULTS OF THE 4th EVENT 2010年2月21日(日)

2009年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第四回 明治神宮外苑学生自転車クリテリウム大会

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 早稲田大学	1位 西園 良太 東京大学	1位 野口 正則 鹿屋体育大学	1位 近藤 美子 鹿屋体育大学
2位 中央大学	2位 堀内 俊介 中央大学	2位 佐々木 龍 早稲田大学	2位 和田見里美 中京大学
3位 鹿屋体育大学	3位 飯野 智行 中央大学	3位 李 成鎬 韓国體育大學校	3位 田中 まい 日本体育大学

第五回大会成績 / RESULTS OF THE 5th EVENT 2011年2月20日(日)

2010年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第五回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 オランダ学生チーム	1位 西園 良太 東京大学	1位 吉田 隼人 鹿屋体育大学	1位 石井 寛子 スパークアスリートラボ
2位 中央大学	2位 笠原 恭輔 中央大学	2位 窪木 一茂 日本大学	2位 近藤 美子 鹿屋体育大学
3位 日本大学	3位 入部 正太郎 早稲田大学	3位 Lars van de Vall オランダ学生チーム	3位 田中 まい 日本体育大学

第六回大会成績 / RESULTS OF THE 6th EVENT 2012年2月19日(日)

2011年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第六回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 日本大学	1位 大 中 巧基 早稲田大学	1位 黒枝 士揮 鹿屋体育大学	1位 塚越 さくら 鹿屋体育大学
2位 早稲田大学	2位 入部 正太郎 早稲田大学	2位 窪木 一茂 日本大学	2位 小島 蓉子 日本体育大学
3位 中央大学	3位 山本 隼 中央大学	3位 堀内 俊介 中央大学	3位 古河 麻美 日本体育大学
	3位 安井 雅彦 東京大学		

第七回大会成績 / RESULTS OF THE 7th EVENT 2013年2月17日(日)

2012年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第七回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 鹿屋体育大学	1位 西沢 倭義 明治大学	1位 黒枝 士揮 鹿屋体育大学	1位 上野 みなみ 鹿屋体育大学
2位 順天堂大学	2位 大 中 巧基 早稲田大学	2位 西沢 倭義 明治大学	2位 塚越 さくら 鹿屋体育大学
3位 中京大学	3位 佐々木 勇輔 早稲田大学	3位 Lars van de Vall アムステルダム大学	3位 小島 蓉子 日本体育大学

第八回大会成績 / RESULTS OF THE 8th EVENT 2014年2月16日(日)

2013年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第八回 明治神宮外苑大学クリテリウム

※前々日の大雪によるコース上の残雪が非常に多いため試合開催中止。
(ロードレース・カップ・シリーズ総合表彰式、大学自転車フォーラムは実施)

シリーズ戦総合成績 (門田杯)

1位 金井 誠人 明治大学
2位 佐々木 勇輔 早稲田大学
3位 高木 三千也 立教大学

第九回大会成績 / RESULTS OF THE 9th EVENT 2015年3月8日(日)

2014年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第九回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 鹿屋体育大学	1位 相本 祥政 法政大学	1位 橋本 英也 鹿屋体育大学	1位 上野 みなみ 鹿屋体育大学
2位 法政大学	2位 小林 和希 明治大学	2位 荒井 佑太 法政大学	2位 坂口 聖香 日本体育大学
3位 中央大学	3位 高木 三千也 立教大学	3位 小林 泰正 日本体育大学	3位 齋藤 望 日本体育大学

第十回大会成績 / RESULTS OF THE 10th EVENT 2016年3月13日(日)

2015年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第十回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績 (門田杯)	グループ1 (大学対抗)	女子
1位 日本大学	1位 小林 和希 明治大学	1位 岡本 隼 日本大学	1位 岡本 二葉 スミタニイザイ
2位 アムステルダム大学	2位 野本 空 明治大学	2位 Sjors Handgraaf アムステルダム大学	2位 齋藤 望 日本体育大学
3位 早稲田大学	3位 孫崎 大樹 早稲田大学	3位 森口 寛己 日本大学	3位 江藤 里佳子 鹿屋体育大学

第11回大会成績 / RESULTS OF THE 11th EVENT 2017年3月12日(日)

2016年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第11回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 日本大学	1位 野本 空 明治大学	1位 岡本 隼 日本大学	1位 中井 彩子 鹿屋体育大学
2位 中央大学	2位 石原 悠希 順天堂大学	2位 黒枝 咲哉 鹿屋体育大学	2位 岡本 二葉 日本体育大学
3位 日本体育大学	3位 岡本 隼 日本大学	3位 原井 博斗 中央大学	3位 高田 奈生 鹿屋体育大学

第12回大会成績 / RESULTS OF THE 12th EVENT 2018年3月11日(日)

2017年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第12回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 アムステルダム大学	1位 岡部 祐太 日本体育大学	1位 Derk Abel Becker アムステルダム大学	1位 橋本 優弥 鹿屋体育大学
2位 中央大学	2位 野本 空 明治大学	2位 渡邊 慶太 明治大学	2位 小泉 夢菜 早稲田大学
3位 明治大学	3位 渡邊 慶太 明治大学	3位 David van Eerd アムステルダム大学	3位 中村 愛花 日本体育大学

第13回大会成績 / RESULTS OF THE 13th EVENT 2019年3月10日(日)

2018年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第13回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 早稲田大学	1位 孫崎 大樹 早稲田大学	1位 沢田 桂太郎 日本大学	1位 中村 愛花 日本体育大学
2位 日本大学	2位 渡邊 慶太 明治大学	2位 孫崎 大樹 早稲田大学	2位 岡本 二葉 スミタエイダイ・バールイズミ・ラハロ
3位 法政大学	3位 小嶋 健太 日本大学	3位 大前 翔 慶應義塾大学	3位 EmmaChiltern メルボルン大学

第14回大会成績 / RESULTS OF THE 14th EVENT 2020年2月23日(日)

2019年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第14回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 日本体育大学	1位 鈴木 浩太 明星大学	1位 篠田 幸希 日本体育大学	1位 中村 愛花 日本体育大学
2位 明治大学	2位 風間 翔真 東北学院大学	2位 鈴木 浩太 明星大学	2位 成海 綾香 鹿屋体育大学
3位 明星大学	3位 植益 和行 大阪産業大学	3位 佐藤 健 日本大学	3位 太郎田 水桜 法政大学

第15回大会成績 / RESULTS OF THE 15th EVENT 2021年3月7日(日)

2020年度 第22回全日本学生選手権クリテリウム大会 兼 第15回 明治神宮外苑大学クリテリウム

シリーズ戦総合成績(門田杯)	男子大学生クリテリウム 決勝	女子
新型コロナウイルスの影響により2020年度のシリーズ戦は本大会を含め4回しか開催できず、参加選手も大きく制限されたため、今期については門田杯の対象者は無しとした。	1位 川野 碧己 慶應義塾大学	1位 岩元 杏奈 日本体育大学
	2位 山本 哲央 中央大学	2位 成海 綾香 鹿屋体育大学
	3位 仮屋 和駿 日本大学	3位 石上 夢乃 鹿屋体育大学

第16回大会成績 / RESULTS OF THE 16th EVENT 2022年2月27日(日)

2021年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第16回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 慶應義塾大学	1位 中島 涉 立教大学	1位 中村 龍吉 中央大学	1位 川口 うらら 日本体育大学
2位 日本大学	2位 仮屋 和駿 日本大学	2位 川野 碧己 慶應義塾大学	2位 岩元 杏奈 日本体育大学
3位 順天堂大学	3位 加藤 遼 東京工業大学	3位 兒島 直樹 日本大学	3位 中島 瞳 川越工業高校

第17回大会成績 / RESULTS OF THE 17th EVENT 2023年2月26日(日)

2022年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第17回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 日本体育大学	1位 中島 涉 立教大学	1位 西村 行生 慶應義塾大学	1位 阿部 花梨 順天堂大学
2位 立命館大学	2位 篠崎 蒼平 東京大学	2位 小泉 響貴 明治大学	2位 渡部 春雅 明治大学
3位 朝日大学	3位 小泉 響貴 明治大学	3位 北村 翔太 日本体育大学	3位 小林 あかり 信州大学

第18回大会成績 / RESULTS OF THE 18th EVENT 2024年3月10日(日)

2023年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第18回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 鹿屋体育大学	1位 小泉 響貴 明治大学	1位 小泉 響貴 明治大学	1位 筒井 楓 山梨県立笛吹高校
2位 早稲田大学	2位 松井 丈治 立命館大学	2位 大前 翔 慶應義塾大学	2位 岩元 美佳 鹿屋体育大学
3位 慶應義塾大学	3位 中島 涉 立教大学	3位 玉城 翔太 日本体育大学	3位 宮本 奏穂 立命館大学

第19回大会成績 / RESULTS OF THE 19th EVENT 2025年2月23日(日)

2024年度全日本学生ロードレースカップシリーズ最終戦 第19回 明治神宮外苑大学クリテリウム

大学対抗結果 対抗順位	シリーズ戦総合成績(門田杯)	グループ1(大学対抗)	女子
1位 作新学院大学	1位 神村 泰輝 早稲田大学	1位 松井 丈治 立命館大学	1位 岩元 美佳 鹿屋体育大学
2位 日本大学	2位 松井 丈治 立命館大学	2位 大森 虹亮 順天堂大学	2位 新沼 杏菜 順天堂大学
3位 立命館大学	3位 泉 颯太 日本体育大学	3位 阿部 虹亮 日本大学	3位 沢登 香里 順天堂大学
4位 明治大学	4位 阿 穂来 夢 作新学院大学		
5位 慶應義塾大学	5位 大森 虹亮 順天堂大学		
6位 法政大学	6位 及川 弘恭 作新学院大学		
7位 早稲田大学	7位 児玉 誠虎 早稲田大学		
8位 日本体育大学	8位 神原 健太 立命館大学		

グループ1(大学対抗)	50'14"	グループ3B	優 番 順天堂大学
1位 松井 丈治 立命館大学		1位 塩出 浩大 慶應義塾大学	
2位 大森 虹亮 順天堂大学		2位 阿部 源 明治国際医療大学	
3位 阿部 虹亮 日本大学		3位 樋口	

グループ2	19'53"	女子	23'31"
1位 泉 颯太 日本体育大学		1位 岩元 美佳 鹿屋体育大学	
2位 児玉 誠虎 早稲田大学		2位 新沼 杏菜 順天堂大学	
3位 榎山 結己 作新学院大学		3位 沢登 香里 順天堂大学	

グループ3A			
1位 片山 悠明 日本大学			
2位 鶴見 健二 日本大学			
3位 安井 健二郎 早稲田大学			



2025年度 RCSポイント上位者成績一覧（第1戦～第8戦まで）

ランク	氏名	大学名	第1戦 修善寺	第2戦 精華	第3-1戦 飯山1日目	第3-2戦 飯山2日目	第4戦 東近江	第5-1戦 白馬1日目	第5-2戦 白馬2日目	第6戦 大島	第7戦 三原山	第8戦 川島町	ポイント 小計	本大会 最終戦	ポイント 総合計
1	及川 弘恭	作新学院大学	A01 60		A03 20	A09 8	A04 18	A02 24	A03 20	A02 24	A02 24		198		
2	左田 龍脩	作新学院大学						B03 13	B04 12	B01 20	A01 30	A02 24	99		
3	住吉 晴気	中京大学					A02 24	B02 16	B04 12	B02 16	B04 12	B05 11	91		
4	雪本 誠	朝日大学	A03 40		A02 24	A06 14							78		
5	西 優斗	学習院大学						B01 20	A01 30		A03 20		70		
6	阿蘇 来夢	作新学院大学	A02 48									A04 18	66		
6	加藤 快介	新潟食料農業大学			A01 30	A02 24						A07 12	66		

成績表のA〇〇はクラス1のみまたはクラス1+2の試合での順位、B〇〇はクラス2のみの試合での順位を表します。順位の下は数字は獲得ポイント数です。

本大会の RCSポイント配点表

順位	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	完走
グループ1	60	48	40	36	32	28	24	20	16	12	4
グループ2	20	16	13	12	11	9	8	7	5	4	2
グループ3	2	以下昇格者		1	0	0	0	0	0	0	0

※グループ1 広告の掲載順は大学名のアイウエオ順です。



大学対抗優勝4回
男子・個人優勝6回
女子・個人優勝8回

鹿屋体育大学
ノーアタックノーチャンス!

Instagram: @NIFS.KANOYA
Facebook

関
西
大
学





SKU_CYCLINGTEAM



挑戦
×
団結力

祝 第20回明治神宮外苑大学クリテリウム

大会の成功と選手の皆様の活躍をお祈りいたします。

日本大学三軒茶屋キャンパス

2016年4月の開設から10年目を迎え、社会で貢献できる卒業生を輩出しています。

【危機管理学部】

君が世界を強くする

社会を襲う自然災害や大規模事故、犯罪、テロリズム、戦争・紛争、個人や組織の情報流出など、私たちの生活はさまざまな危機に取り囲まれています。多様な危機から人々の生命や生活を守るため法学的アプローチを中心に災害マネジメント、パブリックセキュリティ、グローバルセキュリティ、情報セキュリティの視点から、新しい学問である「危機管理学」を学びます。

【スポーツ科学部】

君が世界をアツくする

スポーツ科学部ではコーチング学を中核領域として捉え、自然科学的な領域だけでなく、医科学や社会科学など幅広い領域を含め「競技スポーツ」に関する理論と実践を総合的に学習します。また、国際大会で活躍した元アスリートや指導者、専門的な研究機関に在籍した経験を有する研究者等、スポーツに関する様々な経験を持つ教員が学習をサポートします。

〒154-8513 東京都世田谷区下馬3-34-1 TEL:03-6453-1600
 危機管理学部 http://www.nihon-u.ac.jp/risk_management/
 スポーツ科学部 http://www.nihon-u.ac.jp/sports_sciences/

スポーツ×医療

看護学
救急救命学
柔道整復学
鍼灸学



志望者募集中
選手トレーナー



MUIM_CYCLE

※グループ1 広告の掲載順は大学名のアイウエオ順です。



選手・マネージャー
募集中！

詳細やご相談は HP・各種SNSまで！

公式LINE



Instagram



X (Twitter)



<https://stpaulsbicycle.wixsite.com/rikkyobicycleracing>

第20回 明治神宮外苑大学クリテリウム 個人広告

鈴木 俊保

(1口 2000円 2口以上)

賛助会員一覧

秋田 謙
荒川 和宏
井関 康正
井上 由大
植松 隼人
宇佐見 誠
太田 徹

古賀 岳文
小林 和司
小林 寛和
佐々木 一也
塩出 和也
鈴木 俊保
鈴木 芳文

瀧浪 勝弥
竹内 功臣
武田 彰
野崎 華奈子
長谷川 哲也
疋田 啓二
古川 利勝

本間 滋
増子 智大
松倉 信裕
村岡 功
森川 和之
山口 英生
山崎 好弘

<法人>

株式会社 Realize

2025年10月24日現在 (敬称略・50音順)

賛助会員の皆様、ご協力ありがとうございます。

JAPAN INTERCOLLEGIATE CYCLING FEDERATION

日本学生自転車競技連盟 JICF

〒160-0013 東京都新宿区霞ヶ丘町4番2号
ジャパンスポーツオリンピックスクエア408

TEL 090-2207-2369 FAX 03-6804-2329

E-mail: jicf@remus.dti.ne.jp URL: <https://jicf.info/>

NICHINAO

RACING LINE UP

株式会社 日直商会



展示ブースで商品を手に取ってご覧ください。

selleitalia



SLR ADVAN

販売価格:¥22,000 (税込価格)

レース用軽量サドルのSLRが第4世代へと進化。

<使用トップチーム>

ALPECIN-PREMIER TECH 

NSN CYCLING TEAM 

favero



ASSIOMA PRO RS-1

販売価格:¥89,155 (税込価格)

重量123.5g。最軽量レベルのペダル型パワーメーター。

<使用トップチーム>

BARDIANI-CSF 7SABER 

iGPS SPORT



BiNavi Air

販売価格:¥29,700 (税込価格)

重量77g、厚さ13.8mmの軽量フラッグシップ。

<使用トップチーム>

GROUPAMA-FDJ UNITED 

KASK



UTOPIA Y

販売価格:¥44,000 (税込価格)

空力性能、通気性、快適性に優れたエアロヘルメット。

<使用トップチーム>

INEOS GRENADIERS 

KOO | e y e w e a r



DEMOS

販売価格:¥31,900 (調光レンズモデル・税込価格)

KASKが展開するKOO。DEMOSは日本人にフィットしやすい形状が好評。

<使用トップチーム>

TEAM POLTI VISITMALTA 

私たちは学生のレースを応援しています。



FORMULA PRO

これが、チューブレス新基準。

転がるタイヤへの挑戦^{※1}

転がり抵抗

9.97% 減

※1 両モデル700x28C RBCC使用
5代目フォーミュラプロ比/当社ラボ評価による

高耐久、高寿命を追求^{※2}

耐摩耗性

82% 増

※2 タイヤが完全摩耗するまでの時間の比較
5代目フォーミュラプロ比/当社ラボ評価による

Line-up サイズ展開 : 700 X 25C, 28C, 30C, 32C

RBCC

オールラウンド

全てにおいてバランスのとれた
スタンダードモデル

チューブレス (シーラント不要)



S-LIGHT

世界最軽量クラス

プロチームとの共同開発で生まれた
レーシングモデル

チューブレスレディ



X-GUARD

耐パンク性能抜群

乗り心地とロングライフを
両立したモデル

チューブレス (シーラント不要)

